

嵐の決断「5人じゃないと」 来年末に活動休止

有料記事

2019年1月28日05時00分

アイドルグループ「嵐」が2020年いっぱいでの活動休止を発表した。メンバー5人は会見を開き、リーダーからの提案を受け、「5人でなければ嵐じゃない」と決断に至るまでの複雑な思いを明らかにした。解散は否定したが、多くのファンから惜しむ声があがった。▼1面参照

■大野さん提案、1年話し合う

5人は27日夜、東京都内で記者会見を開いた。詰めかけた100人以上の報道陣の前にジャケット姿で登場。4人は笑顔だったが、リーダーの大野智さんは神妙な面持ちだった。

冒頭、大野さんが「グループとしての活動を休止させていただくことになりました」と報告。全員で深々と頭を下げた。

活動休止を提案した大野さんは「3年くらい前からそういう気持ちが芽生えて強くなっていた」と明かした。他の4人に話を持ちかけたのは17年6月。「嵐としての活動をいったん終えて、自分も自由に生活してみたいと伝えました」

メンバーとの話し合いを重ね、18年2月に所属事務所に報告。同年6月に活動休止を決断したという。

二宮和也さんは大野さんの申し出を受けた際の心境を「衝撃でした」と振り返った。「いろいろ話し合いを続けるなかで、4人でも6人でも嵐ではないと思っていた」と最終的に同意した理由を説明した。

相葉雅紀さんも「どうにか、嵐を続けていく方法はないか相談した。だが、みんなと同じ方向を向いていないリーダーを付き合わせるのは違う。1人、2人と欠けてしまうのは違うと思った。リーダーの意見に納得し、そっちの方向で進もうと思った」。櫻井翔さんは「選択肢として『1人休んでも嵐です』という形もあったが、『5人じゃないと嵐じゃない』という選択肢をとった」などと語った。

大野さんは今後、具体的に何がやりたいかは今はわからないとしつつ、「この世界を一度離れ、見たことのない景色を見てみたい。普通の生活にも興味がある」と述べた。

大野さんが他のメンバーについて「正直本当に申し訳ないという思いが強い」などと語り、声を詰まらせる場面もあったが、会見は笑い声も交え和やかな雰囲気で行った。

2年近く先となる20年末を区切りとしたのは、コンサート活動などを通じ、時間をかけてファンらに感謝の気持ちを伝えたいとの思いがあるからだという。松本潤さんは「20年まで

5人でやって、ファンのみんなと楽しい時間を過ごすのが大事」だと語った。

■ファン「言葉出ない」

「嵐だけは大丈夫だと思っていたのに」

千葉県柏市の高校1年、毛利妃那（ひな）さん（16）は東京・原宿のジャニーズショップで整理券の列にいたとき、ツイッターで「嵐、活動休止」という文字を目にした。

本当とは思えず、メールを確認すると、ファンクラブから「お知らせ」が届いていて事態を悟ったという。ファンクラブの専用サイトで配信されたメンバーのメッセージ動画をスマホで見て「ウソ?」「ヤバイ」とささやく声が列の前後から聞こえた。泣き出す人もいた。

神奈川県藤沢市から娘と来た阿久津さわ子さんは「これからどうやって生きていけばと思って、言葉も出なかった」。結成の頃からのファンで、娘3人も物心ついた頃から夢中に。中学2年の海恋（かれん）さん（14）は「最後まで全力で応援したい」。小学6年の海里（かいり）さん（11）は「活動休止なので早く戻ってきてほしい」と話した。

■新たな道を期待

芸能リポーター・井上公造さんの話 2017年6月から続けていたという話し合いが、外部に漏れなかったということに驚き、メンバーの意思の強さや結束の強さを感じた。

嵐は、文字どおり国民的アイドルグループ。ファンだけでなく多くの老若男女がメンバー全員の顔と名前を知っており、長期間にわたってグループとしてテレビ番組を持っている。こんなグループは歴史を振り返ってもほとんどなく、その存在感は計り知れない。

活動休止を申し出た大野さんは芸術性も高い。他のメンバーもそれぞれ得意の分野があり、個人としての活躍は今後も続くだろうし、それぞれの新たな道を期待したい。

■SMAP影響も

アイドル評論家・中森明夫さんの話 男性アイドルにおけるジャニーズ帝国の終わりではないか。2016年のSMAP解散から、TOKIOの山口達也さんの引退、タッキー&翼の解散と、一連の流れで起きている印象を受ける。

SMAPは歌や踊りだけでなくバラエティー、俳優と活動の幅を広げ、個々の自由とグループの結束を両立させる新しいモデルを作り上げた。嵐は、そのモデルにのって、個々のメンバーが高いレベルにあった。まだまだやれたはずだ。

SMAPの解散を巡っては、ジャニーズ事務所によるファンに対する不当な扱いがあったし、タレント管理の仕方も通用しなくなっていることが露呈した。その後を受けた嵐には、大きな風圧がかかっていたはずだ。あれだけの人気があり貢献してきたSMAPがあんな形で解散したことは、後進のグループにも絶望を与えたと思う。あれが終わりの始まりで、ジャニーズの生態系が崩れたといえる。

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.